

農林金融2012年 8 月号

拡大するブラジルの農業投資

(阮 蔚)

21世紀に入って世界の農業において、食糧価格の上昇とそれによる農業投資の拡大という大きな潮流変化が起きた。これは供給不足によるものではなく、米国や中国によって創出された需要が急増したことによるものである。特に中国の輸入需要が今後さらに拡大する可能性があることは、一種の下支えの役割を果たして、世界的な農業投資の拡大をもたらしている。

本稿はブラジルでの農業投資拡大による輸出拡大が達成できたことへの考察を通して、07年からの価格上昇が食糧増産に有用であったことを検証し、同時に食糧価格の形成を適正化し、農業投資を拡大すれば、世界で食糧増産の余地が依然として大きいことを検討する。

チリの食料需給と農産物貿易

(藤野信之)

チリは南米の小国だが、新自由主義的経済運営や開放的な貿易政策と、長期にわたる安定的経済成長を特徴としている。輸出額に占める農林水産物の構成比は6.1%、うち果実は5.2%と、果実を中心としたプレゼンスが大きい。

最近では、日本を巻き込むTPPの前身となるP4協定の当事国としても知られる。P4協定やTPPでは、例外なき関税撤廃が旗印とされるが、FTA先進国チリにおいてさえ、対EU、韓国その多くのFTAで、小麦、小麦粉、砂糖がセンシティブ品目として関税撤廃の除外品目とされている。

チリは、農産物貿易赤字解消を目指した輸出促進のためにFTAを推進し、同時に果実振興で生産減となった小麦の保護を合わせ行ってきた。これらは、優れて戦略的な国家政策であるといえよう。

農林金融2012年 8 月号

ミャンマーの稲作農業

(室屋有宏)

民主化の進展を契機にミャンマー経済への関心が内外で高まっている。しかし、これまでの国際的な孤立を脱し、いわば「普通の途上国」として世界に向き合うとき、ミャンマーに与えられた現実グローバル経済の最外縁に位置する低所得農業国という姿である。

ミャンマーは現在でもGDPの約4割を農業が占め、全人口の約6割が農村に居住するなど農業国としての性格が色濃い。ミャンマーを知るためには、なによりもその農業を歴史的文脈のなかで理解しておくことが重要であるといえる。

本稿は、こうした観点からミャンマー農業の基幹作物であるコメに焦点をあて、その政策展開をたどりつつ、稲作農業が直面する現状と課題についてまとめたものである。

農林金融2012年 9 月号

EU競争法における国家補助と協同組合

(農林中央金庫JAバンク統括部 主監 明田 作)

21世紀に入り、EU加盟国の協同組合税制がEU競争法との関係で攻撃されている。攻撃の対象の分野、協同組合の種類は異なるが、いずれもEU競争法で禁止する国家補助にあたる点で共通する。イタリアの裁判所に係属中の事案については、欧州司法裁判所(ECJ)の見解が示され、EU加盟国ではないもののEEA協定を通じEUとルールを共有するEFTA加盟国のノルウェーの同様の事案では、EFTA監視機関の決定が下されている。

いずれも協同組合税制自体が否定されているわけではないが、EFTA監視機関の判断とECJの見解とでは、基本的な点での違いが認められ、イタリアの破棄院がECJの見解(判決)を踏まえどのような最終的判断を下すかが注目される。

農林金融2012年 9 月号

(外部寄稿)

社会的経済・協同組合とリレーショナル・スキル
—境界を超える人材と組織のつながりを求めて—

今村 肇<東洋大学経済学部総合政策学科 教授>

目 次

はじめに

—「社会的経済」という選択肢を考えるために—

- 1 経済成長を支えた日本の社会規律、自己規律と労働者の質
- 2 日本における「福祉」と「雇用」を両立する生活保障システムの現実
- 3 公共サービスの担い手として期待される社会的経・サードセクター
- 4 民間と政府のコ・プロダクションとそれを支えるリレーショナル・スキル
- 5 社会的経済・協同組合がこれからの日本の中心的位置を占めるために

都市農協の地域に根ざした取組み

茂野隆一<筑波大学大学院生命環境科学研究科 教授>

尾中謙治<一般財団法人農村金融研究会 主任研究員>

目 次

はじめに

—コモンズとしての地域に根ざした取組み—

- 1 なぜ都市農協において地域に根ざした取組みが必要なのか
- 2 調査農協の概要と取組みの概要
- 3 食農教育
- 4 市民農園(ふれあい農園)
- 5 地域に根ざした取組みの意義

むすび

金融市場

2012年 8 月号

潮流 先送りされた社会保障と税の一体改革

情勢判断

回復感の乏しい展開が続く国内景気

情勢判断(海外経済金融)

- 1 回復の勢いが鈍化傾向にある米国経済
- 2 首脳会議での合意の後にも難題が残るユーロ圏
- 3 年後半にかけて持ち直しに転じる中国経済

分析レポート

- 1 法人企業部門の貯蓄について
- 2 政策反動の長期化が懸念される耐久消費財
- 3 収益力向上と「金融円滑化法」対応

連載

- 1 経済金融用語の基礎知識
QFII制度により推進される中国資本市場の自由化
- 2 新興国ウォッチ！
為替制度(3)：香港のカレンシー・ボード制

海外の話題

アジアはミンスキーのダウンサイクルに入るのか？

2012年 9 月号

潮流 ユーロ圏での「期待」の成果と日本への教訓

情勢判断

頭打ち感を強める国内景気

情勢判断(海外経済金融)

- 1 減速懸念が和らぐ米国経済
- 2 ユーロ圏における金融政策の限界
- 3 輸出低迷で下振れリスクが強まる中国経済

経済見通し

2012～13 年度改訂経済見通し

分析レポート

- 1 エネルギー・環境戦略に関する国民的議論の経過
- 2 団塊世代の退職金と金融機関の商品展開

連載

- 1 国際的な短期金利の指標LIBOR
- 2 為替制度(4)：アルゼンチンのカレンシー・ボード制